

# 患者の主観的評価に基づく医療 QOL 評価の新しい実践

医療の目的は患者のQOL(Quality of Life:生活の質)の向上です。QOLの測定法は数々ありますが、客観的な視点で一元化する方法を、緩和ケアや難病ケア領域など治癒を目標とできない領域に適用すると、時として「死」よりも低い評価値がでて、ケアの視点を失うだけでなく、医療の配分の視点で切り捨てられる危険をはらんでいます。患者の主観的QOL評価法としての「SEIQoL」は、アイルランドで開発されましたが、代表的な患者の報告するアウトカム（PRO: Patient reported outcome）とされ、臨床研究に多く使われています。人は状況の変化に応じて生活の中で大切に考える事柄やその優先順位を変化させ評価を変えています。それをとらえることで、真の緩和ケアの実践を可能にします。

この「SEIQoL」を理解し、ipodを用いた最新システムで体験するセミナーを開催します。今回の会は、医療、介護のスタッフのみならず、患者さん・ご家族の参加も有意義になるものと思います。皆様のご参加をお待ちしています。

日 時 **2020.2.9 (日) 12:30~16:30**

場 所 **公財) 東京都医学総合研究所 講堂** 東京都世田谷区上北沢 2-1-6

講 師 **坂下 美彦 (千葉県がんセンター)・山本 晃 (R102)**

コーディネーター **中島 孝 (国立病院機構新潟病院院長)**

**井手口 直子 (帝京平成大学薬学部)**

**中山 優季 (東京都医学総合研究所難病ケア看護プロジェクト)**

対 象 **難病ケア、緩和ケアに関心がある医療職・介護職・患者・家族・関係者・ボランティア**

定 員 **先着 50名**

参加費 **無 料**

## プログラム

- 現代における喪失のケアと緩和ケア、難病ケア
- QOLとは何か：ケアを改善するためにQOLの誤解を解きどのように理解するとよいか？
- 特別講演：緩和ケアとSEIQoL (坂下美彦)
- 実践演習：SEIQoLにおける面接の基本とSEIQoLにおけるCueの抽出の説明
  - ルールプレイ法によるSEIQoLのCue抽出 (ステップ1)
  - ルールプレイ法によるCueのレベルの決定 (ステップ2)
  - SEIQoLにおけるCueのWeightの推定 (ステップ3)
  - SEIQoLのデータ入力と解析・評価
- ◆ 総合討論

◆ お申し込み・お問い合わせ ◆

医学研中山 優季まで、**申込期限：2020年1月31日(金)**

裏面の申込用紙にご記入のうえFAX/Emailにてお申し込みください。